

3類型	鉾工業品	通巻番号	2 - 21 - 007
地域資源名	秀衡塗	認定日	平成21年10月27日
地域	岩手県一関市	所管省庁	経済産業省

事業名：伝統的工艺品「秀衡塗」の漆塗り・加飾技術を応用した文具の開発及び販路開拓

会社名：有限会社丸三漆器

所在地：岩手県一関市大東町摺沢字但馬崎10

連絡先：TEL：0191 - 75 - 3153

事業概要(新たな活用の視点)

- ・「秀衡塗(ひでひらぬり)」は、平安時代末期に岩手県平泉町において奥州藤原氏のもとで生産が始められ、伝統的工艺品にも指定されている漆器である。
- ・「秀衡塗」の特徴である金箔を用いた加飾技術を応用して、鉛筆、シャープペンシル、ボールペン、万年筆などの文具に漆装飾を施し、漆塗り文具シリーズを開発・販売する。



伝統的「秀衡塗碗」

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・漆塗りや加飾技術を応用した高級感ある材料で製造した鉛筆では、1本あたり1000円程度の価格を実現しており、他社製品と比較しても競争力を保持している。

市場性

- ・漆器の出荷額は、百貨店における工艺品売り場の縮小、物産展開催件数減少、顧客ニーズの変化、輸入品との競合により減少傾向が著しい。
- ・一方、国内ギフト市場は、法人需要が年々減少傾向にあるが、パーソナル市場は伸びている。その中でも「孫がいる世代」の支出が大きく、文具に対する需要が見込める。

販路

- ・文具を取り扱う通販会社や既存取引先である百貨店・専門店に加え文具卸を活用した百貨店・専門店への販路開拓を図る。



秀衡塗鉛筆

地域資源における関係事業者との連携

- ・岩手県北部は、全国有数の漆採取地であり、当社が所属する協同組合と連携し、岩手県産漆を使用したものづくりに取り組む。
- ・伝統的工艺品「秀衡塗」の知名度向上や、年間200万人に上る平泉への観光客への有効なアプローチを図るため、県や市などの機関とも連携を図る。



ボールペン